

市制85周年記念 半田市 市勢要覧

ALL POWER HANDA

過去から未来へ、チャレンジあふれるまち。



この市勢要覧は石灰石から生まれた新素材 LIMEX でつくられており、
水資源や森林資源の利用を抑えています

市長あいさつ

Greetings from the Mayor

わたしたちのまち半田市は、豊かな自然に恵まれるとともに、古くから海運業、醸造業などで栄え、その歴史や伝統を背景に、知多地域の政治・経済・文化の中心都市として成長してきました。そして昭和12年に県下6番目の市として誕生して以来、今年で市制施行85周年という記念すべき節目を迎えることができました。

今後も、本市の普遍的都市像である「健康で明るく豊かなまちづくり」を基本理念に、先人の方々が守り、受け継いできた、素晴らしいまち半田をさらに愛されるまちに発展させ、次世代に繋げることができるよう全力で市政運営に取り組んでまいります。

半田市は人と人との繋がりが強く、市民力のあるまちです。「第7次半田市総合計画」に掲げた将来都市像「チャレンジあふれる都市・はんだ」を国籍・文化・性別などにかかわらず、全ての市民の皆様とともに、オール半田で創り上げてまいります。

この「市勢要覧」により、本市に対するご理解をより一層深めていただき、まちづくりにお力添えいただければ幸いに存じます。



Our city, Handa, blessed with rich nature and long flourished in the shipping and brewing industries with their history and traditions, has grown into the Chita region's political, economic, and cultural center. This year marks the 85th anniversary of the city's establishment as the sixth city in the prefecture in 1937. We will continue to do our utmost to operate the city government based on the guiding principle of "creating a healthy, bright, and prosperous city" - our city's universal image - so that Handa, the wonderful community our forebears have protected and inherited, can be further developed into a much-loved city and be passed on to future generations. Handa is a city with strong human ties and civilian power. In solidarity with all citizens, regardless of nationality, culture, or gender, we will create "Handa, a City Filled with Opportunities," as stated in the "Seventh Handa City Comprehensive Plan." We hope that this "City Handbook" will help you deepen your understanding of our city and assist in our community development efforts.

半田市長 久世 孝宏

Mayor of Handa
Takahiro Kuze



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

半田市は持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。



半田市ってこんなまち

- 半田市役所の所在地……半田市東洋町二丁目1番地
- 半田市役所の位置……東経136度56分16秒 北緯34度53分33秒
- 面積……47.42km²
- 東西最長……9.76km
- 南北最長 ……8.22km
- 海岸線……10.70km
- 海拔最高 ……83.7m (行人町15番地の11)
- 姉妹都市……アメリカ合衆国ミシガン州ミッドランド市 (Midland, Michigan, U.S.A)
オーストラリア国ニューサウスウェールズ州ポートマッコリー
(Port Macquarie, New South Wales, AUSTRALIA)
- 友好都市……中華人民共和国江蘇省徐州市 (Xuzhou, Jiangsu, CHINA)



半田市 Handa

ぼくが半田市を
紹介するダン!



半田市観光マスコット
キャラクター
だし丸くん
Handa City
Tourism Mascot
Dashimaru-kun

半田市民憲章 (昭和43年1月18日決議)

The Handa Citizen Charter (Resolved January 18, 1968)

わたくしたち半田市民は、昔から美しい自然と勤勉であたたかい人情
の美風をうけついできました。

わたくしたちは、力をあわせていっそう健康で、明るい、豊かなまちをつ
くり、次代に引きつぐ努力をつみかさねていきます。

そのために、つぎのことを日常生活の「こころがまえ」と定めて守ります。

わたくしたちは

- ◎自然を愛し、美しいまちをつくりましょう。
- ◎教養をふかめ、高い文化をきざきましよう。
- ◎健康で明るく、楽しい家庭をつくりましょう。
- ◎希望にみちた、あたたかい社会をつくりましょう。
- ◎仕事に誇りをもち、たくましい市民になりましょう。

We, the citizens of Handa, have long
inherited the beauty of nature and the
fine traditions of hard work and warm-
heartedness.

We shall work together to create a healthier,
brighter, and more prosperous city and
continue our efforts to bequeath it to
posterity.

To this end, we have established and
shall observe the following as our "code of
conduct" for daily life.

Let us:

- ◎love nature and build a beautiful city.
- ◎enrich our education and cultivate a high
cultural level.
- ◎create a healthy, bright, and happy family.
- ◎create a caring society filled with hope.
- ◎be stalwart citizens with pride in our work.



市章 (昭和12年10月1日制定)
City Emblem
(Established on October 1, 1937)



市の木:黒まつ
City Tree: Black pine



市の花:サツキ
City Flower: Azalea

市制85周年記念 半田市 市勢要覧

発行:半田市 令和4年9月
編集:半田市企画部企画課
制作:半田中央印刷株式会社
半田市役所 〒475-8666 半田市東洋町二丁目1番地
TEL 0569-21-3111 FAX 0569-25-2180
<https://www.city.handa.lg.jp/>

大学生・高校生×市長 座談会

わたしたちがのぞむ、未来の半田

このまちで学ぶ学生は半田市に何を思い、何を期待しているのか、また市長はこれからの半田市を担う大学生・高校生に何を伝えたいのか、そして今後のまちづくりのためにはどうすればいいのかを本音で語り合いました。

歴史と伝統があり、人の繋がり と活気のあるまち

久世市長：皆さんは、半田市にどんな印象をお持ちですか？

大石さん：私は、山車まつりや新美南吉などが有名なまちだと思っています。お祭りでは活気を、南吉には親しみを感じてきました。

堀江さん：授業で建築物や周辺の歴史について調べてきた僕は、半田市には今も歴史が色濃く残っていて、半田らしさの多い魅力的なまちだと感じています。

久野さん：僕も、半田市は知多半島の中でも栄えていて活気あふれる市であると思っています。特に囃子方をする中で地域の情熱を感じる祭りは、無くなって欲しくない伝統です。

久世市長：山車・葦・南吉・赤レンガについては他のまちの方に誇りを持って伝えて欲しいです。また、それぞれが持つ歴史やストーリーなどの背景も併せて伝えることで、より半田市をPRすることになり、半田の魅力が伝わると思います。

中島さん：私の出身地である岡崎市にも歴史がありますが、半田市には人と人との繋がりやあたたかさを感じます。まちを歩いていると地域の方が気軽に声をかけてくれるので、はじめは驚きましたがここでは普通なんです。

久世市長：地域の人に声をかけられた

座談会に参加してくれた学生のみなさん



半田高校(2年)
く の まさはる
久野 雅晴さん



日本福祉大学(4年)
なかしま あき
中島 明都さん



半田商業高校(3年)
おおいし ゆう
大石 優さん



日本福祉大学(4年)
ほりえ りょうた
堀江 僚太さん

り、繋がりを感じたりするのは、昔から祭りという文化とそれに伴うコミュニティがあったからかもしれません。

離れたとしてもまた戻ってきた いまち

久世市長：皆さんに半田の歴史や伝統を理解していただき嬉しく思います。別の視点で半田の魅力や良いところはどんなところですか？

堀江さん：何より住民の皆さんがあたたかいと思います。大学入学を機に半田に引っ越してきた僕は、ボランティア活動を通して地域の方と仲良くなり、ここは第2の故郷だと感じています。まちを離れてもまた戻ってきたくなると思います。

大石さん：私は、まちに活気があふれている点だと思います。先日あるイベントで、本校生徒と地域の皆さんが交流しながら楽しむ様子を見て、山車まつりをは

じめとする色々なイベントが、ふれあい・活気・賑やかさに繋がっていると感じました。

久世市長：半田市には、まちを盛り上げてくれる市民活動団体がたくさんあります。その皆さんが行う活動や催しを、市としても応援しており、それにより一層まち全体が活気づいてくれることを願っています。

中島さん：私が半田の魅力を挙げるとしたら観光資源の多さです。最近ではカフェのような飲食店など、若者が興味を持つ場所も増えてきています。

久野さん：僕は、学校帰りに気軽に立ち寄りやすい施設が駅の近くにあって便利なのが良い点だと思っています。駅の周辺は交通網が発展していて移動が楽です。



半田市の未来について
考えてもらったダン!



未来の半田への期待と課題

久世市長: 半田市の課題や、こうなって欲しいと思うことはありますか？

大石さん: JRの本数が少なく、バスも不便なので改善してほしいです。

堀江さん: 確かに、僕には車があるのでいいですが、車がないと行動範囲が限られますよね。

久野さん: 映画を見たくても半田に映画館がないのが残念ですし、常滑に行こうとしても東西の移動が大変です。

中島さん: 私の出身地である岡崎市は交通網がしっかりしていて、ショッピングエリアや遊び場もたくさんあります。半田市も利便性が高まるといいですね。

久世市長: 市内のバスについては、利用者が増えれば路線拡大や増便が必要となり、増収によってそれらが可能となります。現在は利用促進に向け試行錯誤を重ねているところです。

久野さん: 僕には祭りをする子どもたちを増やして欲しいという願いがあります。

中島さん: 子どもから高齢者まで、まずは健康で暮らせることが重要だと私は思います。

大石さん: 地域のお年寄りが元気で、若い人や子どもたちに積極的に声をかけてくれると嬉しいです。

堀江さん: 住民が元気で、観光客が来ることでさらに元気になって、まちが発展していくといいですね。

楽しく暮らせる居心地のいいまちづくりを目指して

久世市長: 今後、半田市がどんなまちになって欲しいですか？

中島さん: 気がつけば居ついてしまっている、そんなまちになったらいいなと思います。歴史あるまち並みと若さや新しさがミックスした空間に、私たちが共通して経験しているあたたかさが重なって、居心地がとてもいいです。

久野さん: そうですね。僕たちのような学生が過ごしやすく、子育て世代にも快適な、老若男女問わず住み続けたいまちになることを願います。今のまま、あたたかさや親しみやすさのあるまちであり続

けて欲しいです。

久世市長: 皆さんのような若い方が半田を好きでいて、半田のことを考えてくれるのは心強いです。

堀江さん: より多くの方に半田を好きになってもらうために、まちの魅力を市内外の人に知ってもらいたいですね。まずは市内の人が自分のまちを好きでいて、誇りを持つことが大切だと思います。

大石さん: そのためには広報活動や情報発信に力を入れ、市外・県外・国外からも訪れたいと思えるようなまちになるといいです。そして今以上に高齢者を含む社会人の方が、若い世代と和気あいあいと関わりを持っていてくれたら素敵です。

久世市長: それぞれの人が幸せであるために、繋がりを生かしてあたたかく支え合う、住んで居心地のいいまちづくりをしていきたいです。皆さんも、より一層半田のことを考え、半田のまちづくりに関わっていただけたら幸いです。

学びあい育ちあう 自分らしさと夢を育むまち

Learn and grow together, A city that nurtures identity and dreams



安心して子育てできる環境づくり

「すべての子どもが心ともに健やかに成長できるまち・はんだ」を目指して、子育て環境の整備を推進します。子育て支援センター「はんだっこ」や各地区に子育て支援拠点を設け、子育て世代の出会いや交流の場を提供しています。

また、児童健全育成の観点から、児童センターや放課後子ども教室、放課後児童クラブ（学童保育所）などの充実を図っています。

Creating a safe environment for raising children

We promote the development of an environment for raising children to create "a city where all children can grow up healthily both mentally and physically." We have established the Childcare Support Center "HANDAKKO" and a childcare support base in each district to provide opportunities for the child-rearing generation to meet and socialize. Also, from the viewpoint of the sound upbringing of children, we are enhancing children's centers, after-school children's classes, and after-school children's clubs (childcare centers for school-aged children).

子育て支援が充実しているから安心して暮らせるダシ!



相談体制の充実

子育てをする人に寄り添った支援や相談体制の整備を推進します。妊娠期から出産・子育て期まで切れ目ない支援ができるよう子育て相談課に総合窓口を設けています。

Improvement of the counselling system

We promote the development of a support and counseling system attuned to the needs of individuals raising children. We have established a general contact point in the Childcare Counseling Section to provide seamless support from pregnancy to childbirth and child-rearing.

教育・保育の充実

幼児教育や保育の充実を図り、仕事と家庭の両立を支援します。市内には公立幼稚園が6園、私立幼稚園が2園、保育園・認定こども園が24園あります。教育・保育の質を高めていくとともに待機児童の解消を図るなど、安心して子育てできる環境が整っています。

Improvement of education and childcare

We support work-life balance by enhancing early childhood education and childcare. We have six public kindergartens, two private kindergartens, and 24 nursery schools and accredited kindergartens. We provide a safe environment for raising children by improving the quality of education and childcare and eliminating the number of children on waiting lists.



地域とともに、元気・笑顔・優しさいっぱいの教育

市内には小学校（分校含む）が14校、中学校（分校含む）が6校あります。キャリア教育を基盤として夢や希望をもって自分らしく生きていく子の育成を目指します。地域等の特色を生かした学校づくりを図り、家庭・地域・学校が連携・協働して子どもの成長を支えていきます。

また、県立高校が5校、特別支援学校が2校、大学が1校あり、幼稚園から大学まで全て揃い、教育環境が充実しています。

Education filled with energy, smiles, and kindness with the community

The city has 14 primary schools (including satellite school) and six middle schools. We aim to nurture children who can live their lives in their way with dreams and hopes based on career education. We support children's growth through cooperation and collaboration with families, communities, and schools by creating schools that make the most of the characteristics of the communities. In addition, the prefecture has five local high schools, two special-needs schools, and one university, providing an excellent educational environment with everything from kindergarten to university.

環境に配慮した サステナブルな産業都市

Environmentally sustainable industrial city



市内バイオマス発電所

バイオマス発電施設

- ・ サミット半田パワー株式会社
- ・ CEPO半田バイオマス発電株式会社

バイオガス発電施設

- ・ 株式会社ビオクラシックス半田

Biomass power plants in the city

Biomass power plants

- ・ Summit Handa Power Corporation
- ・ CEPO Handa Biomass Power Co., Ltd.

Biogas power plant

- ・ Biokurasix Handa Ltd.

2021年10月に開所したバイオガス発電施設
A biogas energy facility opened in October 2021

バイオマス発電など再生可能エネルギーを活用した循環型社会の実現へ

木質チップとパームヤシ殻等を燃焼するバイオマス発電や、生ごみ・食品廃棄物・畜産ふん尿等を利用したメタン発酵によるバイオガス発電を行っています。加えて、排熱・排ガスを利用した植物工場、バイオ液肥の農業利用といった事業化プロジェクトにより、循環型社会の形成、農業の振興、畜産臭気の低減を目指し、環境に配慮した産業振興を図ります。

Towards a recycling society utilizing biomass power and other renewable energies

Burning wood chips and palm shells generate biomass power, and biogas is produced through methane fermentation using garbage, food waste, livestock manure, etc. In addition, we aim to form a recycling society, promote agriculture, reduce livestock odors, and promote eco-friendly industries through business projects such as a plant factory using exhaust heat and gas and bio-liquid fertilizer for agricultural use.



中部から世界へ広がる航空宇宙産業

自動車に続く次世代産業として、先端技術が集約される航空宇宙産業。「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」にも指定され、航空機の大型部品が生産されています。

Aerospace industry expanding from Chubu to the world

Aerospace is the next-generation industry after the auto industry, where cutting-edge technologies are focused. The area has also been designated as a Special Zone to Create Asia No.1 Aerospace Industrial Cluster, where large-scale components for aircraft are produced.



株式会社豊田自動織機 東知多工場
Toyota Industries Corporation Higashi-Chita Plant

ものづくり王国・愛知を支える産業

伝統的な地場産業である醸造業をはじめ輸送機械や鉄鋼が主な産業となっており、事業所数としては金属製品・生産用機械も多く、地域経済を牽引しています。近年の製造品出荷額においては、自動車関連や航空産業といった輸送機械部門の占める割合が高くなっています。

Industries supporting Aichi, the manufacturing empire

The main industries are the traditional local brewing, transport machinery, and iron and steel. Many businesses also produce metal products and machinery for industrial use, driving the local economy. In recent years, the proportion of the value of manufactured shipments has been dominated by the transport machinery sector, such as the automobile and aerospace industries.

商業都市としても魅力的な賑わい豊かなまち

スーパーや飲食店の数が、知多半島で最も多く、普段の生活に欠かせない「モノ」や「コト」が何でもそろう、「暮らしやすさ」が確保されています。

A bustling, prosperous city with commercial appeal

The area has the largest number of supermarkets and restaurants on the Chita Peninsula and is well supplied with all the goods and services necessary for daily life.



全国トップクラスの畜産業

農業生産額の約8割を畜産が占めており、特に養牛は1戸あたりの飼養頭数が全国トップクラスです。生産者が仔牛の出生から出荷まで一貫して管理しており、温暖な知多半島の恵をうけた肉牛は「知多牛」として人気を博しています。

The nation's leading livestock industry

Livestock production accounts for about 80% of agricultural production. The number of cattle raised per farm is one of the highest in the country. Farmers manage the entire process from birth to shipping, and the meat enjoys popularity as "Chita beef," thanks to Chita Peninsula's mild climate.

未来の地球のために、最先端の技術で環境に配慮してくれている企業がた〜くさんある Dash!



Chapter-4
くらし

地域全体で支え合う 安心・安全な暮らし

The whole community supports each other, Safe and secure living



ふだんのくらしのしあわせの実現に向けた体制整備

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるためのささえあいの地域づくりを促進します。また、社会情勢の変化等により生じる新たな課題について、関係機関と連携・協力して解決する仕組みづくりを行っています。

Improving the system for attaining joy in daily life.

We promote the creation of supportive communities so that everyone can continue to live with peace of mind in their familiar surroundings. We are also building a system to solve new issues arising from changes in social conditions in cooperation and collaboration with relevant organizations.

地域医療体制の充実

かかりつけ医による健康状態の把握や一時的な救急処置、日常的な病気や軽度の外傷の治療などを進めることで、地域型医療提供体制の構築を図ります。多くのかかりつけ医と基幹病院である半田病院との間ではITを活用して情報を共有し、連携した医療体制を整えています。医療・介護・保健・福祉という多職種連携では、だし丸くんネットを導入した情報共有も進んでいます。

Improving the regional medical system

We are building a community-based medical care system by promoting the use of family physicians to monitor health conditions, provide temporary emergency care, and provide routine treatment for illnesses and minor traumas. We have a medical care system that utilizes IT to share information between many family physicians and Handa Hospital, the main hospital. In the multidisciplinary cooperation between medical care, nursing care, healthcare, and social welfare, information sharing is also progressing with the introduction of the Dashimaru-kun Net.

医療や防災の整備は、みんなが安心して暮らすために大切ダシ。小さな子どもからお年寄りまでみんなを支えるダシ！



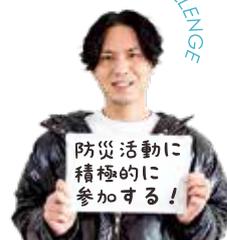
災害に強い都市構造に向けた防災・減災整備

ライフラインの耐震化や浸水対策を進め、避難所の強化と周知、災害時対応や復旧・復興に向けた市民・事業者・行政の連携強化を図ります。市民一人ひとりの防災意識、地域防災力の向上を図るため、講座の開催や助成を行っています。

Disaster prevention and mitigation improvements for a disaster-resilient urban structure

We promote the earthquake-proofing of lifelines and flood countermeasures, strengthen and publicize evacuation centers, and reinforce cooperation among citizens, businesses, and local government for disaster response, recovery, and reconstruction. We hold lectures and provide subsidies to improve each citizen's disaster awareness and community disaster preparedness.

MY CHALLENGE



暮らしの足となる公共交通

市内には、基幹路線（半田北部線、半田・常滑線）、地区路線A ごんくる（亀崎・有脇線、半田中央線、青山・成岩線）、地区路線B（岩滑小線、成岩東部線、瑞穂線）の計8つの路線バスが運行しています。また、有脇小学校区では、新たな試みとして、半田市おでかけタクシー制度を展開しています。

Public transport for everyday life

Eight bus routes operate in the city: the core routes (Handa-Hokubu, Handa-Tokoname), District Route A Gonkuru (Kamezaki-Ariwaki, Handa-Chuo, Aoyama-Narawa), and District Route B (Yanabesho, Narawa-Tobu, Mizuho). In addition, Handa City Odekake Taxi System operates in the Ariwaki Primary School District as a new initiative.



健やかで豊かな暮らしを支えるまちづくり

Community development supporting healthy and abundant lifestyles



誰もが健康づくりに取組める環境整備

市民一人ひとりが自らの健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取組むことができる仕組みやきっかけづくり、環境整備を進めています。定期的に各種健（検）診を受診するよう情報提供や普及啓発を行い、健康寿命延伸のための保健事業を展開するほか、感染症予防や心の健康ケアも推進します。

半田に住むみんなの健康やいきいきとした暮らしのために、いろんな活動があるダン。楽しい生活は身体が資本ダン!



Creating an environment where everyone can participate in improving their health

We are promoting the creation of systems, opportunities, and environments where citizens can take an interest in their health and proactively engage in wellness. In addition to providing information and promoting awareness of the importance of regular health checkups and developing health projects to extend healthy life expectancy, we also promote the prevention of infectious diseases and mental health care.



スポーツを通じた健康的で活力あるまちづくり

市民が生涯にわたりスポーツに気軽に親しめるよう、スポーツ教室・イベントなどスポーツプログラムの拡充、スポーツ団体の支援を行っています。5つの中学校区にある総合型地域スポーツクラブで、様々な種目のスポーツや文化活動を楽しむことができます。満足度の高い施設の整備を図り、効果的な活用を推進します。

Creating a healthy and vibrant community through sports

We are expanding our sports programs, such as sports classes and events, and supporting sports organizations to help citizens enjoy sports for life. Citizens can take part in a variety of sports and cultural activities at comprehensive community sports clubs in five middle school districts. We will develop facilities to ensure high levels of satisfaction and promote effective use of the facilities.



創造性を育む文化・芸術

音楽をはじめとする文化芸術に「誰でも」「いつでも」「どこでも」気軽に触れ楽しむ環境づくりを行っています。

まち全体が豊かで潤いのある姿になるよう、観光・教育・福祉・まちづくりなど、幅広い分野において文化・芸術の活動を推進します。

Culture and the arts to foster creativity

We are creating an environment where "anyone" can easily enjoy music and other cultural arts "anywhere" and "anytime." We promote cultural and artistic activities in various fields, including tourism, education, social care, and community development, so the city as a whole becomes richer and more fulfilling.



市立図書館・市立博物館
Handa City Library / Handa City Museum



半田空の科学館
Handa Space Science Museum

暮らしやすさを備えた 都市機能の形成

Shaping urban functions to make life easier



イメージ画像

よりよい暮らしのために
日々成長しているダン!
どんどん素敵なまちに
なっていく半田市の未来
を見てみるダン。



歴史を伝える良好なまちなみ形成に向けて整備が進む、 JR武豊線高架化・JR半田駅前土地区画整理事業

JR武豊線の高架化に併せて、JR半田駅前土地区画整理事業を実施し、東西交通の円滑化を図り市街地の一体的なまちづくりを進めます。黒板囲いの蔵をイメージした半田駅、SLや跨線橋など鉄道遺産を活かした公園、道路の無電柱化や高質化など、魅力的な都市空間の整備を進め、中心市街地の活性化につなげていきます。

JR Taketoyo elevated railway line and land readjustment projects in front of JR Handa Station are progressing to create a favorable townscape that conveys the area's history

Along with the elevated JR Taketoyo Line, a land readjustment project is being undertaken in front of JR Handa Station to facilitate east-west traffic and promote integrated urban development. We promote the development of attractive urban spaces, such as Handa Station, inspired by the city's old warehouses in dark wood enclosures, parks featuring railroad heritage, such as a steam locomotive and an overpass bridge, and the development of high-quality, pole-free roads, which will help to revitalize the city center.



イメージ画像

知多半島の地域医療を支える半田病院の建設

新半田病院は、令和7年春の開院に向け、半田中央インターチェンジに近く、知多半島各地からのアクセスが良い半田運動公園東側に建設しています。

令和7年4月に常滑市民病院と近接する利点を活かし、地方独立行政法人化による経営統合を行い、診療統合・機能分化を進めることで、より効率的で質の高い医療提供体制を確保し、知多半島医療圏における基幹病院の役割を担っていきます。

Construction of Handa Hospital to support regional medical care in the Chita Peninsula

The new Handa Hospital is under construction on the east side of Handa Undo Park, near the Handa Chuo Interchange and easily accessible from all parts of the Chita Peninsula, for opening in the spring of 2025. Taking advantage of its proximity to Tokoname City Hospital, the hospital will be integrated into a local incorporated administrative agency in April 2025. Integrating its medical services and differentiating functions will ensure a more efficient, high-quality medical system and assume the role of a core hospital in the Chita Peninsula medical care area.



イメージ画像

亀崎地区の景観整備

住民の暮らしや、歴史・文化を大切にしつつ、山車のさや・蔵・社寺など、亀崎の特徴的な建築物や背景となる斜面緑地を意識し、潮干祭の山車の曳き廻しが映える景観形成を図ります。

Cityscape improvement in the Kamezaki district

We aim to create a cityscape that showcases the floats of the Shiohi Festival while respecting the lives of the residents, history, and culture, and being conscious of the distinctive architectural features of Kamezaki, such as float sheds, warehouses, shrines and temples, and the green slopes that serve as a backdrop.



市民の憩いの場、公園・緑地の整備

陸上競技場やデイキャンプ場がある半田運動公園をはじめ、桜の名所として親しまれる雁宿公園、ため池を活かした自然豊かな七本木池公園、任坊山公園、有脇ふれあい公園など、131箇所の公園・緑地が整備されています。

Development of parks and green spaces for citizens' rest and recreation

Our city has 131 parks and green spaces, including Handa Undo Park with its athletic field and day camp; Kariyado Park, famous for its cherry blossoms; Shichihongi-ike Park, featuring a reservoir and abundant nature; Nimboiyama Park, and Ariwaki Fureai Park.

みんなが関わり安心して 住み続けられる地域づくり

Creating communities where everyone is involved and can continue to live in peace



みんなの「違い」を大切に
しあえば地域の力に
なるダシ!
オールパワー半田ダシ!



多彩な協働による持続可能な地域づくり

市民、地域コミュニティ、市民活動団体、教育機関、事業者、行政など多様な主体による地域課題の解決にチャレンジしています。より豊かで住みやすい地域づくりのため、みんながみんなを大切に、どんな形でも関わり、できることを持ち寄る「多彩な協働」を展開していきます。

Creating sustainable communities through diverse collaborations

We are taking on the challenge of solving local issues with diverse actors, including citizens, local communities, civic groups, educational institutions, businesses, and local authorities. We will develop "diverse collaborations" where everyone takes care of everyone else, gets involved in any way they can, and brings what they can to the table to create more abundant and livable communities.

MY CHALLENGE



まちづくりの
プロジェクトに
参加する!!

多様性は協働の原動力

多様な主体の様々な力を持ち寄ることで、より効果的な取組を推進しています。

Diversity is a driving force for collaborations

We promote more effective initiatives by bringing together the various strengths of diverse entities.



半田商業高校の生徒が講師となり、地域の方々に「キャッシュレス決済教室」を行っています。生徒たちは市と協働して、市職員からマイナンバーカードやマイナポイントの概要、キャッシュレス決済でのトラブル事例などを事前に学び、活かしています。

Handa Commercial High School students serve as instructors to provide "cashless payment classes" to residents. Working with the city, the students learn in advance from city officials an overview of My Number Card and My Points, as well as case studies of issues with cashless payments, to make the most of the lecture.



ホテルおじさん(土本修二さん)、企業、半田農業高校などが協働して、ホテルの飼育や幼虫放流会などを行っています。

Mr. Firefly (Shuji Tsuchimoto), businesses, Handa Nogyo High School, and others collaborate to conduct firefly breeding and larval release events.



半田中学校避難所運営委員会と、外国籍市民を支援する団体「マングーベレン・プロジェクト」が協働して、発災時に誰も取り残されることのないよう、また外国籍市民も支援する側で活躍できるよう、防災事業を行っています。

The Handa Middle School Evacuation Shelter Steering Committee and the Projeto Mango Belem, an organization supporting international residents, are collaborating on disaster prevention projects to ensure that no one is left behind in the event of a disaster and that international residents can also play an active role on the supportive side.



日本福祉大学の学生を中心とする亀崎建築塾と、亀崎思いやり応援隊(KOO)が協働して、亀崎ものづくり塾を開催しています。

The Kamezaki Kenchiku Juku, led by students from Nihon Fukushi University, and the Kamezaki Omoiyari Oentai (KOO) collaborate to offer the Kamezaki Monozukuri Juku.

活動を支え、発展させるための取組

市民活動支援センター(はんだまちづくりひろば)では、市民活動団体に対し、活動場所や活動に関する情報を提供したり、地域課題を解決するための事業に対し助成金制度を設けるなど、様々な方法で支援しています。

Initiatives to support and develop activities

The Citizen's Activity Support Center (Handa Machizukuri Hiroba) supports citizen's activity groups in various ways, including providing places to hold their activities and information about activities and subsidizing projects to solve local challenges.



数字で見る半田市

●人口
118,166人
(令和4年4月1日現在)



●世帯数
52,577世帯
(令和4年4月1日現在)



●人口密度
1km²当たり2,492人
118,166人 / 47.42km² (令和4年4月1日現在)



●出生
1日2.2人
791人 (令和3年度)



●婚姻(市への届出数)
1日3.2件
1,173件 (令和3年度)



●家族構成
1世帯当たり2.2人
118,166人 / 52,577世帯



●死亡
1日3.3人
1,220人 (令和3年度)

●離婚(市への届出数)
1日0.8件
276件 (令和3年度)

●転入
1日12.6人
4,586人 (令和3年度)



●転出
1日13.8人
5,043人 (令和3年度)

●教職員
小学生
15.6人につき1人
6,162人 / 396人 (令和4年5月1日現在)

中学生
14.4人につき1人
3,158人 / 219人 (令和4年5月1日現在)



●火災
7.9日に1件
46件 (令和3年度)



●市民税(法人分を除く)
市民1人
当たり66,068円
収納済額: 78億695万8000円 (令和3年度)

高校生
13.8人につき1人
3,562人 / 259人 (令和4年5月1日現在)

●交通事故
1日当たり
1.2件
445件 (令和3年度)



●蔵書冊数
市民
1人当たり
4.0冊
468,297冊 (令和4年4月1日現在)



●救急出動
1日当たり
14.8件
5,414件 (令和3年度)



●公園
市民1人当たり
8.7m²
1,025,034m² (令和4年4月1日現在)



●ごみ(可燃物・不燃物)
市民1人当たり
172kg
20,310t (令和3年度)



酢 Vinegar (三ツ判®山吹®) (Mitsuban® Yamabuki®)

熟成した酒粕だけを原料にした、ミツカン創業時のお酢。芳醇でまろやかな贅をつくした味わいです。

Vinegar is made exclusively from aged sake lees, dating back to the Mizkan's founding. It has a rich, mellow, and luxurious flavor.



酒 Sake

半田市では古くから酒造りが盛んで、良質な原料米、酒造りに適した気候風土に恵まれ、伝統と技術を受け継ぎながら、旨口の酒が造られています。

Handa has long been a thriving sake brewing region, blessed with high-quality rice and a climate ideal for brewing and producing delicious sake based on traditions and technology.



いちご Strawberries

温暖で穏やかな気候の半田市では、12月から5月下旬までいちご狩りが楽しめます。和洋菓子店に並ぶいちご大福やケーキもご堪能ください。

Strawberry picking can be enjoyed from December to late May in Handa, where the climate is mild. You can also enjoy strawberry daifuku (rice cake with strawberries) and cakes at Japanese and Western confectionery stores.



知多牛 Chita beef

乳用のホルスタイン種のメスと肉用の黒毛和牛のオスを交配した交雑種で、柔らかさと甘さが好評です。全国的にも高い評価を得ています。

A crossbreed of a female dairy Holstein and a male Wagyu black beef, Chita beef is well-received for its tenderness and sweetness. It is highly acclaimed throughout Japan.

カブトビール Kabuto Beer

半田赤レンガ建物で明治・大正時代に醸造されていた幻のビール。当時の味を忠実に再現しています。

The legendary beer was brewed in the Handa Red Brick Building during the Meiji and Taisho eras. The taste is faithfully reproduced as it was in those days.



半田の特産品

Handa's local specialties

米・野菜・園芸・畜産などをバランスよく安定して生産している半田市では、特徴的な食文化を広く味わうことができます。

With its balanced and stable rice, vegetables, horticulture, and livestock production, Handa offers a broad taste of its distinctive food culture.

尾州早すし

Bishu hayasushi

江戸時代の握りずしを再現し、通常の2.5倍の大きさがあります。市内の一部店舗で食べることができます。

It is a rendition of nigiri from the Edo period and is 2.5 times larger than usual. It can be enjoyed at some restaurants in the city.



あいぼーく

Ai Pork

豊かな自然の中でのびのびと育てられる銘柄豚。オレイン酸が豊富なおいしい豚肉です。

Brand pigs are raised naturally in a lush natural environment. This tasty pork is rich in oleic acid.



銘菓 Famous confections

松かげ Matsukage

老舗和菓子店が作る「松かげ」は、一本一本手づくりでカリッと焼きあげられた松葉の形のお菓子で、程よい甘さが後を引きます。

Made by a long-established Japanese confectionery store, Matsukage is a crispy, pine needle-shaped confection made by hand, one by one, with a moderate sweetness that lingers on the palate.



生せんべい

Nama Sembei

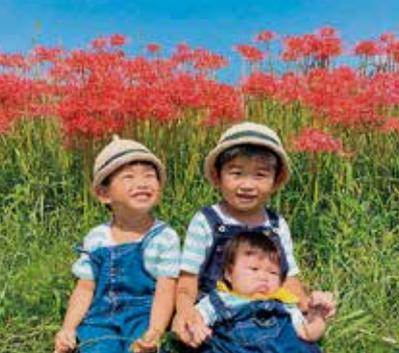
お餅のようにもちもちとした歯ざわりで、黒砂糖と蜂蜜のほのかな甘みが口広がる風味豊かな半生菓子です。

This flavorful semi-raw pastry has a sticky texture like a rice cake, with a subtle sweetness of brown sugar and honey that fills the mouth.



ALL POWER HANDA

ちか 半 田 の



新美南吉の生きた風景を、 活動を通して継承していきたい

新

美南吉とその作品は、半田を全国にPRできる財産です。生涯100年事業を行った2013年には全国から多くの方が来てくださいましたし、市内の各学校をはじめ諸団体、市民一人ひとりが南吉と地域を盛り上げてくださいました。今もごんの秋まつりには、たくさんの方が訪れています。

時代とともに発展を遂げてきた半田は、住みやすく、ここで生まれ育った人の多くが他のまちへ出て行かない…：それがいいところだと私は思っています。南吉作品の「花のき村と盗人たち」に出てくる善良な村人と、その村人に歓迎され改心する盗人のように、いい人の多いまちなのです。これからも皆が仲良く暮らせるまちであって欲しいです。

私たちは、南吉が生きた風景を残していきたいと活動しています。そのため手法として、自然という場の力を借りながら、人と人が関わり合い、将来を担う子どもたちも参加できる彼岸花の植栽や、田んぼアート・蛍の里管理サポート事業などに力を入れています。

単なるイベントの開催ではなく、皆が一緒に関わり合いながら、次の世代へつなげていけたらと思っています。



NPO法人ごんのふるさとネットワーク 代表理事
新美 勝彦氏

新美南吉記念館を市民の立場から応援しようと発足した「ごんぎつねの会」の会長を長年務める。平成25年の生誕100年には実行委員長として携わり、現在も「NPO法人ごんのふるさとネットワーク」の代表として南吉と地域を繋ぐ活動に力を入れる。

先人から学び後世へ活かす、 まちづくりの立役者4人が語る

歴史的・建築学的な価値や 魅力の発信を

明

治の三大巨匠の一人と言われた妻木頼黄が設計した半田赤レンガ建物は、現存する数少ない赤煉瓦造りのビル工場です。赤煉瓦建物の規模としては国内4番目を誇るなどから、ここにしかない貴重な建物構造で日本一の赤煉瓦建物であると思っています。半田の起業家たちが最先端の設備と技術者をドイツに求め、本格ドイツビルであるカプトビルを造り、大手4大ビルメーカーに果敢に挑戦していった歴史があります。

このようなドイツからの贈り物とも言える歴史を踏まえ、あらゆる分野にドイツ色を出し、中部地区のドイツの聖地と言われるようにしたいです。個性ある施設として認知されることで、半田の観光にも好影響となるのではないのでしょうか。

現在は、建物の真の価値や魅力を知っていただくために特別展を毎年行っており、これまでに創建時のレンガ展、妻木頼黄展、盛田善平展などを開催してきました。また、子どもたちにも建物のファンになってもらおうと、市内の小学校で出前授業も始めています。次世代に継承するためには、半田赤レンガ建物の価値や魅力を伝える必要があります。今後も積極的に赤レンガ建物の魅力を発信していきたいと考えています。



赤煉瓦倶楽部半田 理事長
馬場 信雄氏

1994年よりボランティアとして半田赤レンガ建物の保存活動に取組み、1997年に半田赤レンガ倶楽部を結成。2002年に建物を初公開し、赤煉瓦倶楽部半田に改名。その後カプトビルを復刻させ、多くの人に建物の価値と魅力を伝えている。

山車



半田山車祭り保存会 会長
加藤 順三氏

第六回はんだ山車まつり実行委員会本部事務局長を皮切りに、第七回の実行本部長、第八回の副会長として同まつりの運営に携わる。2018年より半田山車祭り保存会の会長として、山車文化の保存継承活動を行っている。所属する下半田南組では、山車取締を務める。

半田が誇る山車文化を 次の世代に引き継ぐために

半

田の山車祭りは、現存する文献によると江戸時代中期以前までさかのぼります。海運業や醸造業などによる経済的繁栄が半田の山車文化の発展を支えました。精緻な彫刻や煌びやかな刺繍幕に彩られた31輛の山車は市民の誇りであり、勇壮な曳き廻しやからくり人形の妙技は見る人を魅了します。市民にとって、山車文化は先祖が残してくれた大切なもので、なくてはならない特別な存在であり、市内全域で受け継いできた祭礼は、まさにコミュニティの根幹、半田の地域力の象徴といえます。

令和2年から全世界を襲った新型コロナウイルス感染症は、永年伝統として受け継いできた春祭礼での山車の曳き廻しを、2年にわたって中止せざるを得ない状況へと追い込み、山車文化の保存継承が危ぶまれました。しかし、祭り人の情熱は衰えませんでした。令和4年4月以降は工夫を凝らしながら、何とか山車の曳き出しの再開にこぎつけました。市民の誇りの山車文化を次世代に残そうと尽力する半田の祭り人の熱意に改めて敬意を表します。

そして、「慶」をテーマに令和5年10月28日、29日に開催される「第九回はんだ山車まつり」。半田の地域力と関係者の英知を結集し、皆で慶（よろこび）を分かち合えるような、また、大切な山車文化の継承に繋がるようなイベントを目指して、祭り人も一丸となって取組んでまいります。

半田の歴史・文化を語る上で重要なコンテンツである、山車・蔵・新美南吉・赤レンガ建物。これらをどうまちづくりに活かし、いかに継承していくのか。まちづくりの鍵を握る立役者にその想いと狙いを伺ってみた。

醸造のまち、蔵のまちである 郷土に誇りを持ってもらいたい

造

り酒屋が1804年に酢を造り始めたことがミツカングループの歴史の始まりです。ほとんど使い道のなかった酒粕から粕酢を作ることに成功したわけですが、酒の天敵である酢酸菌を用いるという挑戦がもたらした結果でした。

酢には長い歴史がありますが、高価な米酢に対して安価で付加価値品質を持った商品を提供したこと、江戸に食文化が広まる中で寿司が流行り始めた事実を見てきたこと、半田運河を活用した物流網を確保したことなどが、当時の成功に繋がりました。四斗樽(72リットル入り)を江戸まで陸送するのは難しく、運河と海運が発展の鍵を握っていたわけです。ミツカンミュージアムでは、船や樽、当時の道具などを展示して醸造文化や運河の価値を表現しています。

この地で創業し、この地に育てていただいた企業として、社会見学の受け入れ、無料開放日の設定、山車の中庭への曳き入れ、企画展などを行っています。醸造文化やものづくりを継承し、歴史を活かしたまちづくりを推進するためにも、子どもたちに郷土への誇りを持って欲しいので、今後も新しいものを取り入れながら情報発信をしていきたいと思えます。



MIZKAN MUSEUM 館長
新美 佳久氏

1987年に技術職として中壺酢店（現在のミツカングループ）に入社。1994年より商品開発やプロモーションなどを手掛け、2022年にミツカンミュージアム館長に就任。過去に携わった業務で得た知識やお客様の声を情報発信に役立てている。

蔵



新美南吉記念館

芝生で覆われた波打つ屋根は、南吉が童話に描いた風景との調和を図っています。館内には常設展示室・図書閲覧室・工作室・カフェ&ショップなどがあり、屋外の童話の森には遊歩道が整備されています。

Niimi Nankichi Memorial Museum

The grass-covered, undulating roof is in harmony with the landscape depicted in Nankichi Niimi's fairy tales. The museum has a permanent exhibition room, a library, a craft room, a café, and a store, and there is a footpath in the Forest of Fairy Tales outside the museum.



南吉文学の継承

企画展や童話賞、各種イベントの開催などにより、南吉文学を広め後世に伝えます。

Passing on the Legacy of Nankichi Niimi's literature

The museum promotes Nankichi Niimi's literature and passes it on to posterity through exhibitions, children's story awards, and various events.



天皇后両陛下ご訪問(平成22年6月15日)
The Emperor and Empress's official visit
(June 15, 2010)



岩滑小学校の学習風景
Children learning at Yanabe Primary
School



南吉が生まれ育った半田市は、のどかな田園風景が今でも残る絵本に出てくる様な素敵なまちダシ!



蔵のかけ橋開通(令和4年)

令和4年
半田運河「蔵のかけ橋」開通
広域ごみ処理施設「知多南部
広域環境センター」が稼働



東京2020オリンピック聖火リレー(令和3年)

令和3年
久世孝宏氏、半田市長に就任
東京2020オリンピック
聖火フェスティバルを新美南
吉記念館ほかで開催

令和2年
「ゼロカーボンシティ」を宣言
東京2020オリンピック聖
火リレーを半田運河周辺で
開催

令和元年
令和に改元(5月1日)
新型コロナウイルス 国内で
感染確認

南吉文学を顕彰し、

学び伝える

新美南吉生誕の地

代表作「ごんぎつね」「手袋を買いに」「おじいさんのランプ」「でんでんむしのかなしみ」などを書き残した新美南吉は、大正二年に知多郡半田町（現在の半田市）に生まれ、初めて話集を出した翌年に二十九歳で亡くなりました。南吉が育った岩滑では、南吉童話の原風景や南吉が愛した花々が訪れる人を魅了します。南吉顕彰は終戦直後に始まり、昭和三十年代から作品が広く読まれるようになりました。半田市でも顕彰の機運が高まり、行事や活動の継続により、近年では国内外を問わず南吉への関心が広まっています。



半田市のあゆみ

平成23年 富山県南砺市と災害時相互応援協定を締結

新美南吉記念館入館者数100万人を突破

平成24年 知多広域消防司令センター開設

平成25年 新美南吉氏、名誉市民となる
榊原純夫氏、半田市長に就任（2期目）

新美南吉生誕100年記念式典が開催される

平成26年 地域の課題・問題を解決する「マイレボはんだ」運用開始

平成27年 市役所新庁舎オープン
七本木池公園オープン
半六庭園オープン

半田赤レンガ建物オープン



半田市役所 新庁舎完成(平成27年)

平成28年 旧中荻家住宅復旧工事を完了
「亀崎潮干祭の山車行事」がユネスコ無形文化遺産に登録される

平成29年 病児保育施設「げんきの芽」開設

榊原純夫氏、半田市長に就任（3期目）

平成30年 路線バス環境を再編（地区路線バス「ごんくる」、基幹路線バス「半田北部線」・「半田・常滑線」運行開始）

平成31年 クラシティパスポートセンター開設



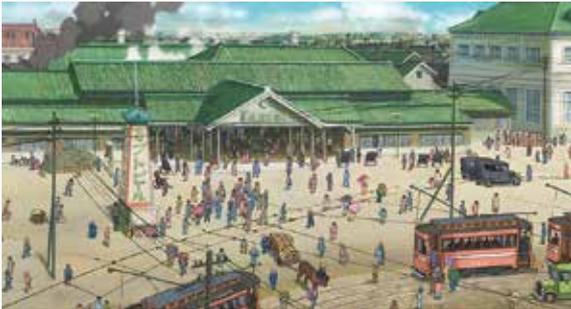
Beer production began in earnest in 1887 in Handa. Marusan Beer Company was established to compete with Sapporo in Hokkaido, Yebisu in Tokyo, Kirin in Yokohama, Asahi in Osaka, and a red brick building was constructed as Kabuto Beer Brewery in 1898. The structure was of the largest in Japan, and the Kabuto Beer produced there was of such quality that it won gold at the Paris Exposition of 1900 and held the largest market share in the Tokai region. The Handa Red Brick Building opened to the public as a tourist facility in 2015 after seismic reinforcement work and is a heritage of local industry designed by Tsumaki Yorinaka, one of the three great architects of the Meiji era, and a war heritage site with bullet holes from machine gun fire during World War II.

明治の起業家精神を伝える半田赤レンガ建物

日本酒づくりの盛んな半田で、新たにビールの製造を始めたのが中埜酢店の四代目中埜又左衛門と盛田善平（敷島製パン創業者）です。先人たちは大ビールメーカーに立ち向かうほど、ものづくりの心意気と財力を有していました。半田赤レンガ建物は国の登録有形文化財、近代化産業遺産として認定されています。

The Handa Red Brick Building conveys the entrepreneurial spirit of the Meiji era

Nakano Matazaemon IV of Nakano Vinegar Store and Morita Zempei (founder of Shikishima Pan) started beer production in Handa, a thriving sake brewing area. Our forefathers were passionate about manufacturing and had the financial clout to stand up to major brewers. The Handa Red Brick Building is recognized as a national tangible cultural property and a Heritage of Industrial Modernization.



スタジオジブリ映画「風立ちぬ」にも登場した旧名古屋駅の広告塔

明治41年頃に名古屋停車場前に建てられていたカブトビール広告塔。スタジオジブリ作品「風立ちぬ」の一場面にも登場し、当時の名古屋停車場前のランドマークとなっていました。

Advertising tower at the old Nagoya Station, featured in the Studio Ghibli film *The Wind Rises*

Kabuto Beer advertising tower was erected in front of the Nagoya Railroad Depot around 1908. It was also featured in a scene from Studio Ghibli's *The Wind Rises* and was a landmark in front of the Nagoya Depot.

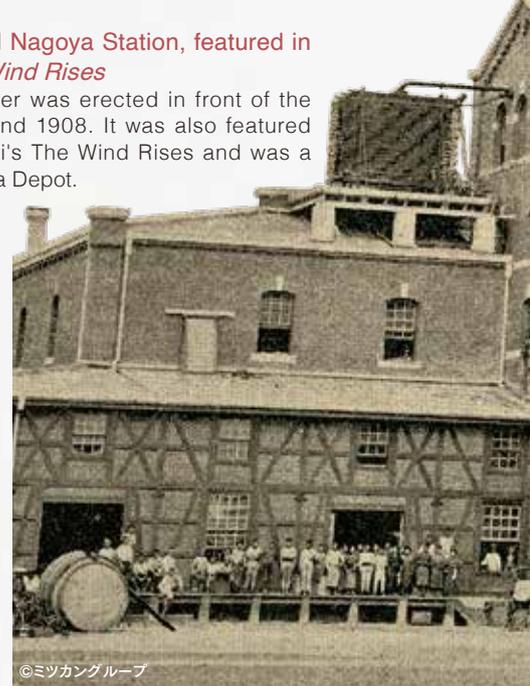
復刻されたカブトビール

半田赤レンガ建物の保存活用を考える団体・赤煉瓦倶楽部半田によって、平成17年にカブトビールが復刻され、半田赤レンガ建物で味わうことができます。明治・大正時代の文献をもとに、味・製法・ラベルなどを忠実に再現しています。



Revived Kabuto Beer

Kabuto Beer was revived in 2005 by the Red Brick Club Handa, an organization that advocates the preservation and use of the old brewery building and can be enjoyed at the Handa Red Brick Building. The taste, manufacturing method, and label are faithfully reproduced based on documents from the Meiji and Taisho eras.



©ミツカングループ



天皇后両陛下、新美南吉記念館を
ご訪問(平成22年)

個人市民税10%減税を実施
天皇皇后両陛下、新美南吉
記念館をご訪問

平成21年
認定こども園「岩滑こども
園」開園

平成20年
半田市の人口12万人突破
第1回童話の村秋まつり開
催

平成18年
「亀崎潮干祭の山車行事」が
重要無形民俗文化財に指定
市民交流センターオープン

平成17年
竹内弘氏、名誉市民となる
「亀崎潮干祭の山車行事」が
重要無形民俗文化財に指定

平成15年
中部国際空港開港
設

平成13年
成岩地区総合型地域スポーツ
クラブハウス(愛称「ナラワ
ウイング」)オープン

平成13年
半田病院救命救急センター開
設

平成13年
成岩地区総合型地域スポーツ
クラブハウス(愛称「ナラワ
ウイング」)オープン



半田運動公園 陸上競技場オープン
(平成13年)

四大ビールメーカーに

挑戦した

カブトビール誕生の地

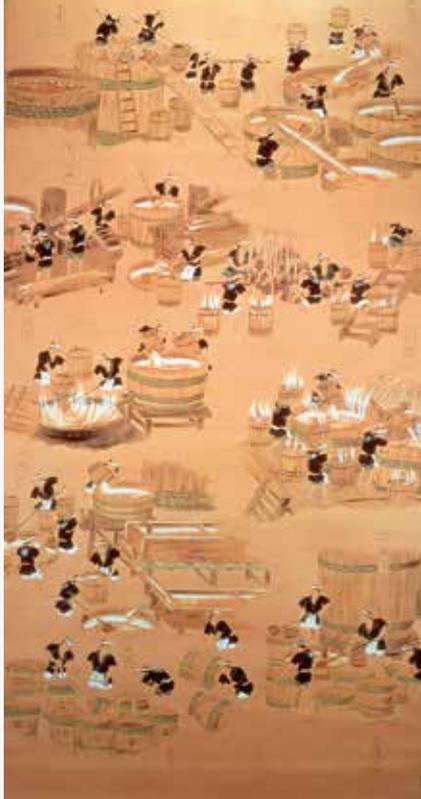
明治二十年に半田で本格的に始められたビールの製造。北海道のサッポロ・東京のエビス・横浜のキリン・大阪のアサヒに対抗して丸三麦酒株式会社が設立され、明治三十一年にカブトビールの醸造工場として赤レンガ建物が建設されました。全国屈指の規模を誇るレンガ建物であり、そこでつくられたカブトビールは明治三十三年のパリ万国博覧会で金牌を受賞するほどの品質を誇り、東海地方で最大のシェアを占めていました。耐震補強工事を行い、平成二十七年に常時公開の観光施設としてオープンした半田赤レンガ建物は、郷土産業の遺産、明治の三大建築家の一人妻木頼黄が設計した建築物としての遺産、第二次世界大戦中に受けた機銃掃射の弾痕が残る戦争遺跡となっています。



カブトビールは半田市のチャレンジの歴史でもあるダシ！先人には学べるということがいっぱいあるダシ！

半田市のあゆみ

- 平成元年 市庁舎増築工事完成
- 平成2年 オーストラリア・ポートマックリーと姉妹都市提携
- 半田市の人口10万人突破
- 平成3年 知多半島道路4車線化開通
- 竹内弘氏、半田市長に就任
- 台風18号による集中豪雨(9月17日)
- 平成4年 雁宿駐車場オープン
- 全国山車まつりフォーラム開催
- 平成5年 非核・平和都市宣言
- 中国・徐州市と友好都市提携
- 平成6年 新美南吉記念館開館
- 森信三氏、名誉市民となる
- 平成7年 日本福祉大学情報社会科学部開校
- 青山記念武道館オープン
- 平成8年 半田市ホームページ開設
- 半田斎場業務開始
- 平成9年 富山県平村(現南砺市)と友好都市宣言に調印
- 亀崎海浜緑地オープン
- 半田福祉ふれあいプールオープン
- 半田市の人口11万人突破
- 平成10年 半田運動公園テニスコートオープン
- 平成11年 半田運動公園ちびっこ広場オープン
- 酒井義弘氏、半田市長に就任
- 中楚又左工門氏、名誉市民となる
- 平成12年 東海豪雨により各地で床上浸水や床下浸水などの被害発生(9月11日)
- 平成13年 半田運動公園陸上競技場オープン
- 榊原伊三氏、半田市長に就任



©ミツカングループ

半田の粕酢から広まった握りずし

江戸時代、半田で初代中野又左衛門（ミツカン創業者）は、当時ほとんど捨てられていた酒粕から粕酢を作ることになりました。風味や旨味がずし飯によく合うことから、当時高価であった米酢にとって代わり、江戸で庶民に握りずしが広がるきっかけとなりました。

Nigiri became popular thanks to the vinegar made from sake lees in Handa

In the Edo period, Nakano Matazaemon I (Mizkan's founder) successfully made vinegar using sake lees in Handa, which were mostly discarded at the time. Because of its flavor and umami, it replaced rice vinegar, which was expensive then, and helped to popularize nigiri among the masses in Edo (present-day Tokyo).

The brewing industry in Handa was and is still thriving. The Handa Canal is closely linked to its prosperity. Sake and vinegar were transported to Edo from the Handa Canal at Koromogaura (Kinuura Port), which had a fine natural harbor in the Edo period (1603-1868), and on the return trip, Edo's goods and culture were brought to Handa. To preserve the landscape of the Handa Canal, where the activities of our forefathers could be felt, the renovation of the revetments and the preservation of the black-walled warehouses have progressed, creating a cityscape with a unique ambiance.



国の重要文化財 小栗家住宅
Oguri family's house, a nationally important cultural property



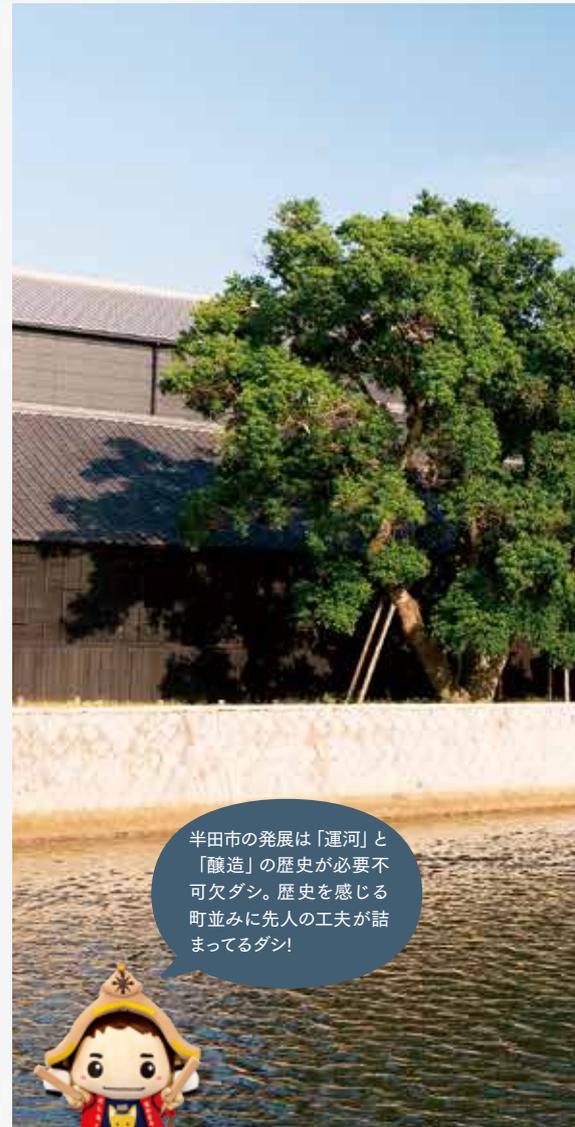
MIZKAN MUSEUM



國盛 酒の文化館
Kunizakari Sake Culture Museum



旧中荻半六邸・半六庭園
Nakano Hanroku's home and garden



半田市の発展は「運河」と「醸造」の歴史が必要不可欠だ。歴史を感じる町並みに先人の工夫が詰まってるだん!



昭和63年 半田市福祉文化会館（雁宿ホール）開館
昭和62年 山田耕市氏、半田市長に就任
昭和61年 国鉄武豊線開通100周年
昭和59年 図書館・博物館開館
昭和58年 竹内佐一氏、名誉市民になる

昭和57年 知多南部卸売市場（株）設立
昭和56年 市立半田病院、東洋町に移転
昭和55年 山川幸男氏、新美保三氏、名誉市民となる
昭和54年 保健センター完成
昭和53年 米田ミッドランド市と姉妹都市提携

昭和52年 知多半島横断道路開通（半田〜常滑）
昭和51年 第一回はんだ山車まつり開催（山車31輛が集結。昭和62年以後5年毎に開催）
昭和50年 台風17号による集中豪雨発生（9月12日）

昭和50年 衣浦臨海鉄道半田線開通
昭和50年 竹内弘氏、半田市長に就任（7月25日）
昭和50年 旧中荻家住宅が国の重要文化財に指定
昭和50年 深津玉一郎氏、半田市名誉市民第1号となる
昭和50年 集中豪雨が発生（6月5日）

今も江戸時代の 面影を残す半田運河と 醸造蔵の街並み

昔も今も盛んな半田の醸造業。その繁栄と切り離せないのが半田運河です。江戸時代に、天然の良港であった衣ヶ浦（衣浦港）に位置する半田運河から酒・酢などが江戸に運ばれ、帰りの船では江戸の商品や文化が半田に運び込まれました。こうした先人たちの営みを感じられる半田運河の景観を残そうと、護岸改修や黒板囲いの蔵の保存が進み、独特な風情のある街並みが形成されています。



半田市のあゆみ

- 昭和32年 半田・亀崎・武豊など8港を統合し、衣浦港として重要港湾に指定される
- 昭和33年 市議会、非核武装宣言採択
- 昭和34年 伊勢湾台風により、市内の死者292人、被害総額約103億円の大被害(9月26日)
- 昭和35年 新市庁舎、東洋町に完成・開庁
- 昭和36年 市営半田球場開設
- 愛知用水正式通水
- 昭和37年 市内初の信号機、平和通り交差点に点灯
- 昭和38年 市議会、公明選挙都市宣言採択
- 昭和39年 常滑競艇場を借用し競艇事業の再開決定
- 昭和40年 第1次半田市総合計画策定
- 昭和41年 半田市民ホール完成(平成17年閉鎖)
- 昭和42年 板山小学校前に、市初の横断歩道橋設置
- 昭和43年 市議会、半田市民憲章決議
- 消防庁舎完成
- 昭和45年 南知多道路開通(半田・南知多)
- 知多半島道路開通(半田・阿久比)
- 昭和46年 給食センター完成、小中学校の完全給食開始
- 半田常滑高等看護学院(現半田常滑看護専門学校)開校
- 知多半島道路開通(半田・大高)
- 昭和47年 半田市交通公園開設(平成18年閉鎖)
- 昭和48年 衣浦海底トンネル開通
- 市の木(黒まご)、市の花(サツキ)が制定される
- 昭和49年 半田市・阿久比町・東浦町・武豊町で広域消防が発足



亀崎潮干祭

亀崎潮干祭は、潮干の海浜に5輦の山車を曳き下ろすとても珍しい祭りです。毎年5月3日・4日に開催されます。国の重要無形民俗文化財に指定、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。

Kamezaki Shiohi Festival

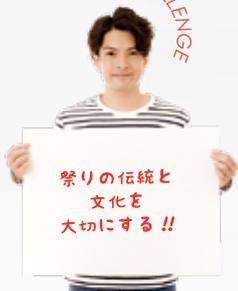
The Kamezaki Shiohi Festival is a unique event held on May 3 and 4 every year, featuring five floats pulled down at the beach at low tide. It is listed as a nationally important intangible folk cultural asset and an intangible cultural heritage.



山車を曳き廻す春の祭礼

半田市は、31輦の山車が大切に守られてきた「山車のまち」です。毎年3月から5月にかけては、10地区の神社において山車が曳き出される「春の山車祭り」が行われ、半田の春の風物詩となっています。

MY CHALLENGE



Spring festivals featuring floats

Handa is a city of festival floats where 31 floats have been carefully preserved. From March to May every year, the spring float festivals are held in shrines in 10 districts, heralding the arrival of spring in Handa.

The Handa Dashi Festival is held once every five years, featuring 31 floats from the city. The dashi, or "floats," decorated with elaborate carvings and magnificent embroidered drapes, and the amazing skills of the Karakuri puppeteers attract over 500,000 spectators.

The next event, the 9th Handa Dashi Festival, will be held on October 28 and 29 (Saturday and Sunday), 2023.

The Handa Dashi Festival started in 1979 with the desire to unite the hearts of the communities of Handa.

The festival is held by mobilizing all the efforts of festival float groups, citizens, and the local communities, showcasing the charm of Handa's float culture to the rest of the country.



第一回はんだ山車まつり

ボクが生まれた半田市は、市民の力が一つになる祭り文化がとっても自慢ダシ!



衣浦大橋開通(昭和31年)

昭和31年 衣浦大橋開通
昭和30年 任 深津玉一郎氏、半田市長に就任



知多半田駅前通り(昭和29年頃)

昭和29年 県警半田警察署設置
昭和28年 台風13号により甚大な被害(9月25日)
昭和27年 半田市民病院舎屋が会下山(現 雁宿町)に完成、「市立半田病院」と改称
昭和26年 消防団条例採択、消防本部設置
昭和25年 半田市体育館、山方新田に完成
昭和24年 半田市民病院開院
昭和24年 第1回成人式挙行
昭和23年 半田市警察署開設
昭和23年 半田市教育委員会発足
昭和22年 森信蔵氏、初の民選市長に当選
昭和21年 足立弥四郎氏、半田市長に就任
半田市立図書館開館

五年に一度、

山車が揃い踏み

「はんだ山車まつり」

市内三十一輛の山車が勢揃いする「はんだ山車まつり」は五年に一度の祭典。精緻な彫刻や豪華な刺繍幕などに飾られた山車の勇壮な曳き廻しや、からくり人形の妙技は五十万人を超える見物客を魅了します。

次回の第九回はんだ山車まつりは、令和五年十月二十八日(土)、二十九日(日)に開催予定です。

「半田の心を一つにしたい」という思いから、昭和五十四年に始まった「はんだ山車まつり」。

山車組や市民、地域すべての力を結集して開催され、半田の山車文化の魅力を全国に発信しています。



第八回はんだ山車まつり

半田市のあゆみ

昭和12年

10月1日、半田・亀崎・成岩3町が合併し、「半田市」が発足(市制施行当時の人口は50,477人)
中笠平左衛門氏、初代半田市長に就任



市制施行記念式(昭和12年)

昭和14年

「半田市公報」創刊



半田市役所(昭和12年)

昭和17年

半田市街路計画立案

昭和19年

東南海地震、動員学徒など153人死亡(12月7日)



東南海地震の被害(昭和19年)

昭和20年

三河地震発生(1月13日)

半田の ちから



過去から未来へ、
チャレンジあふれるまち。